

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横浜市立青木小学校] 担当教諭名 [田代 祐介] (3年 117名)

相手国・地域 [ジンバブエ]

海外学校名 [Helena Primary School] 担当教諭名 [Rudo Kumirai]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	外国語活動	アフリカ・ジンバブエ交流	10

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	ボクらはひとつ
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	文化や環境など、全く異なる両国の小学生ですが、一つの同じ地球に住んでいるのだから、困ったことや苦しいこと、楽しいことやうれしいこと、何かあればすぐに手を取り、仲良くなることができるという思いのもと作成しました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を発掘することができ、その方と深く交流することができた。 ・国、市、地域それぞれの文化や特色を知ることができた。 ・アフリカの衣食住を中心とした文化を学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で取り組んだので活動時間を確保することが難しかった。 ・相手国の情勢や経済事情などの理由で、連絡を取り合うのが難しかった。 ・そのため、急きょ相手校が変更となり、子ども達の中に多少混乱が見られた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイ経験者からの話や壁画作成を通して、自分達の文化とアフリカ(ジンバブエ)の文化を比較し、「違い」について学ぶことができた。 ・学年で壁画制作に取り組んだことで、学年の団結力がついた。 ・完成図を見ることで、実行委員を中心に達成感や充実感を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のホームステイ経験者からの話や自分で調べることによってアフリカについて学ぶことができた。 ・また、その地域の方と仲良くなれたことで、他の教育活動にもその人材を生かせるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・相手校について知る (フォーラム内にお互いの写真をアップ)	・掲示した写真を見て、アフリカがどこにあり、ジンバブエがどんな国なのかなど相手国に興味をもつ子が現れた。	外国語活動
共有 テーマ学習	10月	・地域のアフリカホームステイ経験者に話を聞き、アフリカについての知識を学ぶ。	・アフリカの文化を体験談や写真などから学び、自分達の生活との違いに驚いていた。	外国語活動
融合 メッセージ作成	11月	・ホームステイ経験者から学んだことをもとに、実行委員を中心に話し合い、壁画のデザインを作成。	・日本、横浜、自分たちの学校の特徴を壁画に描けばいいという案が持ち上がった。	外国語活動
創造 壁画制作	12月	・鉛筆で下書きをする。 ・着色を行う。 ・日本側だけ出来上がったものを全校朝会にて発表。	・実行委員を中心に意欲的に活動に取り組んだ。 ・全校朝会で発表することで、自分達の取り組みに自信がもてた。	外国語活動
評価 振り返り 自己評価	2月	・届いた壁画(完成作品)を全校朝会で発表。 ・クラスで感想を発表。	・完成作品を全校朝会で発表することで、他学年にもジンバブエの文化を伝えることができた。	外国語活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	他国の文化と自分達の生活を比べることで、自分たちの地域の良さに気付く子がいた。
異文化を理解する力	4	アフリカにホームステイしたことがある地域の方から話を聞くことで、自分達とは全く異なった文化があることを実感していた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	2	小学3年生には、情報を収集しまとめることが難しかったので、担任が行った。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	2	あまり交流できる機会がとれなかった。(向こうの社会情勢による)
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	1	批判的に物事を見る児童はいなかった。
主体的に考え行動する力	3	実行委員を中心にテーマやデザインなどを考えた。 ホームステイした方のお話を聞き、想像を働かせてよく質問していた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	学級だけでなく、学年全体で活動することができた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	壁画制作では、117人と人数が多いので一人ひとりの担当は少なかったが、活動後、うれしそうな顔や満足そうな笑顔がたくさん見られた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	全校朝会で発表した際や学校に展示した際、興味深そうに相手側の作品を眺めている児童が多かった。